

飛鳥資料館 第13回写真コンテスト「高松塚古墳」

1972年3月、奈良県明日香村にある高松塚古墳で壁画が発見され、日本中に驚きと感動をあたえてから今年で50年。そのメモリアルイヤーとなる今年度の写真コンテストは、作品テーマをズバリ「高松塚古墳」としました。

飛鳥の遺跡を代表し、その「顔」ともいえる高松塚古墳。現在、古墳やその周辺は公園として整備され、人々の憩いの場となっています。そんな高松塚古墳を撮るもよし、高松塚古墳や壁画にまつわる様々な物・事柄を撮るもよし、過去・現在・未来に思いを馳せた、皆様の自由な発想の作品を募集・展示します。(飛鳥資料館 濱村 美緒)

応募締切：2022年6月30日(木)必着／展示期間：2022年7月15日(金)～9月11日(日)
来館者投票期間：2022年7月15日(金)～8月21日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日：月曜休館(7月18日・8月15日は開館、翌火曜日の7月19日・8月16日は休館)

※8月15日(月)は無料入館日

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問合せ：☎ 0744-54-3561



平城宮跡資料館 令和4年度 夏期企画展

「大地鳴動—大地の知らせる危機と私たちの生活—」

奈良文化財研究所は、2014年より「考古資料および文献史料からみた過去の地震・火山災害に関する情報の収集とデータベース構築・公開」事業を、2019年からは、「考古・文献資料からみた歴史災害情報の収集とデータベース構築・公開ならびにその地質考古学的解析」事業^{※1}を進めてきました。また、2020年10月には「文化財防災センター」が独立行政法人国立文化財機構に新たに創設され、「文化財を災害からまもる」ことで地域の社会財産と文化への防災・減災に取り組んでいます。

本展では、これらの事業を進める中で発掘調査によって発見された地震痕跡について、地層(土層)転写法によって保存した貴重な剥ぎ取り資料を展示します。地割れや液状化現象等、大地震の痕跡をとどめた地層を丸ごとご覧いただける、迫力のある展示になっています。

災害を完全に抑止することは現在の我々には叶いません。しかし、災害の発生や被災のメカニズムを解明することで、その被害を最小限にとどめることはできるでしょう。本物の地層が語る「歴史」を紐解き、鳴動する大地に生きる私たちの将来を考えるきっかけとしていただければ幸いです。

(企画調整部 下山 千尋)



平城第635次調査現場で発見された地震痕跡

会期：2022年7月16日(土)～8月28日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)／休館日：月曜休館(休日の場合は翌平日)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問合せ：☎ 0742-30-6753(連携推進課)

■平城宮跡資料館公式Twitterアカウント・飛鳥資料館公式Twitterアカウントが開設されました

ぜひ、アカウントにアクセス・フォローしていただき、情報の共有・拡散にご協力お願いいたします。



平城宮跡資料館
(@NABUNKEN_PR)



飛鳥資料館
(@ASUKA_HM)

■記録

飛鳥資料館 ミニ展示

4月22日(金)～5月22日(日) 3,268名
「飛鳥資料館に寄贈された瓦一瓦の花咲く飛鳥資料館—」

平城宮跡資料館 春期特別展

4月29日(金)～6月12日(日) 7,893名
「未来につなぐ平城宮跡—保存運動のあけぼの—」

編集 「奈文研ニュース」編集委員会
発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>
Eメール koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月 2022年6月